

2023年度 就職に係る学修成果に関するアンケート結果

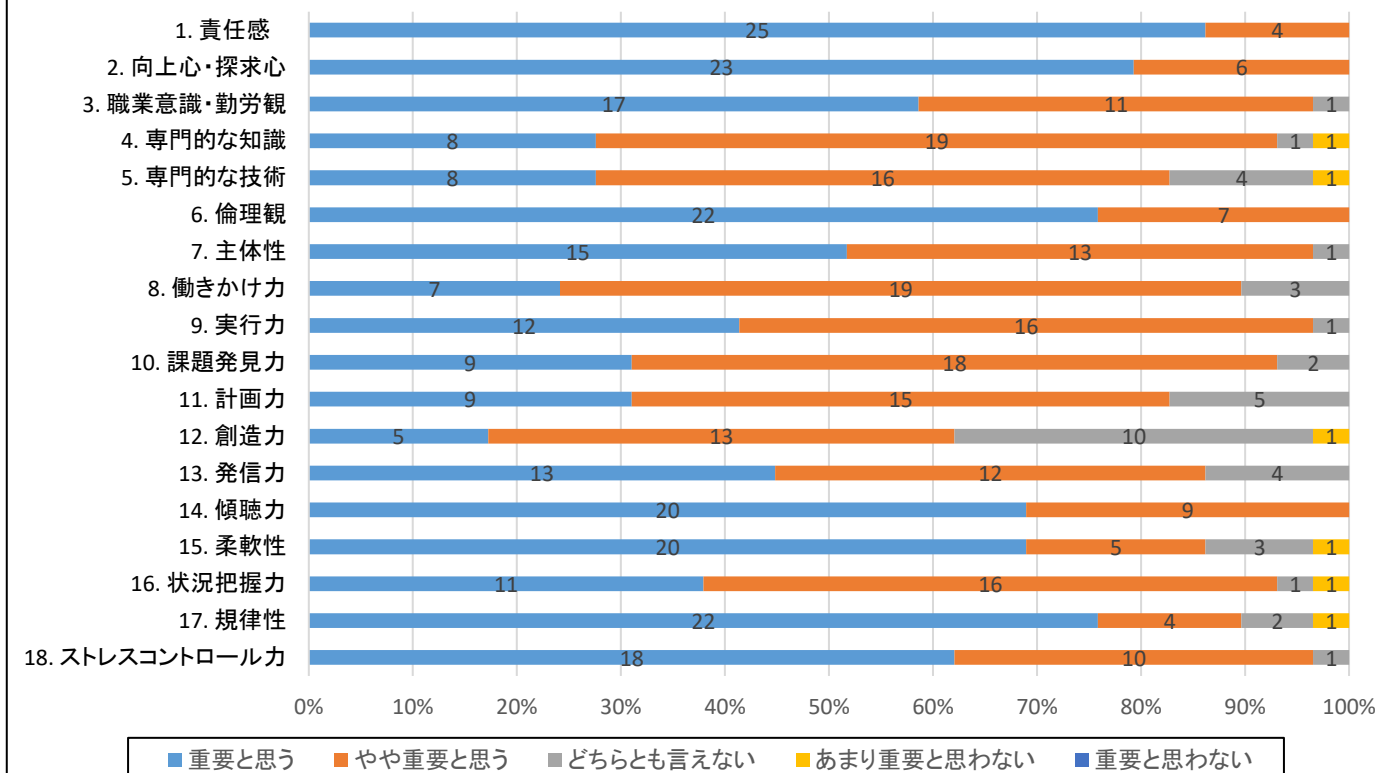
目的：本学の就職先となる施設に対して卒業生の学修成果に関するアンケート調査を行い教育活動の改善に役立てる

対 象：本学就職説明会の参加者(44名)  
 調査時期：2023/9/4～9/8(WEB形式)  
 回収率：65.9% (29/44)

採用活動を行う際、仕事を進めるうえでどのような知識・能力が必要だとお考えですか

		重要と思う	やや重要と思う	どちらとも言えない	あまり重要と思わない	重要と思わない
1. 責任感	社会の一員として役割の自覚を持っている	25	4	0	0	0
2. 向上心・探求心	働くことに関心や意欲を持ちながら進んで課題を見つけ、レベルUPを目指すことができる	23	6	0	0	0
3. 職業意識・勤労観	職業や勤労に対する広範な見方考え方をもち、意欲や態度等で示すことができる	17	11	1	0	0
4. 専門的な知識	リハビリテーション領域における基本的な学力	8	19	1	1	0
5. 専門的な技術	リハビリテーション領域における基本的な技術	8	16	4	1	0
6. 倫理観	専門職として守るべき善悪や是非の判断	22	7	0	0	0
7. 主体性	物事に進んで取り組む力	15	13	1	0	0
8. 働きかけ力	他人に働きかけ巻き込む力	7	19	3	0	0
9. 実行力	目標を設定し確実に行動する力	12	16	1	0	0
10. 課題発見力	現状を分析し目的や課題を明らかにする力	9	18	2	0	0
11. 計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	9	15	5	0	0
12. 創造力	新しい価値を生み出す力	5	13	10	1	0
13. 発信力	自分の意見をわかりやすく伝える力	13	12	4	0	0
14. 傾聴力	相手の意見を丁寧に聴く力	20	9	0	0	0
15. 柔軟性	意見の違いや立場の違いを理解する力	20	5	3	1	0
16. 状況把握力	自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力	11	16	1	1	0
17. 規律性	社会のルールや人との約束を守る力	22	4	2	1	0
18. ストレスコントロール力	ストレスの発症源に対応する力	18	10	1	0	0

採用活動を行う際、仕事を進めるうえで必要な知識・能力



その他コメント:2件

・社会の規律や礼節を軽んじることなく、新たな学びの場であるという意識が大事です。謙虚さはどの年齢、どの立場になっても大切です。新卒時から持ち合わせていない人は論外です。未熟な学生が増えている印象ですが、知識・技術だけではなく人間力を育てられるように我々も努力して参ります。

・すべて重要で備わっているに越したことはないと感じました。しかしながらパーフェクトな人間もいないと思うので、個々のいいところはそのまま伸ばす、悪いところは修正してあげられることが大事と感じました。ありがとうございました。